

山梨県歯科医師連盟**連盟ニュース 第36号**

□発行

山梨県歯科医師連盟 甲府市大手 1-4-1
TEL : 055-252-6481 FAX : 055-253-0854□発行人 内藤 敏雄 HP : <http://ydca.jp>

□編集人 鶴田 好幸 岩間 宣仁

山梨県歯科医師連盟機関紙

○「石井みどり支援者名簿」のご協力をよろしく願います。また、支援者名簿の用紙が不足した際には、事務局までお問合せ下さい。

会長所感

参議院議員選挙投票日まで2ヶ月を切り、いよいよこれからが本番という時期になりましたが、現状は盛り上がりには欠け、更に無関心、変な安心感が見られます。実はこれが選挙では一番怖いのです。現在までの支援者名簿の提出状況も悪く、特に本県は全国平均を下回るという状況です。今回の選挙は我々の生活のみならず歯科界の今後を決める選挙と言っても過言ではありません。他の医療系団体も強力な候補を擁立し組織を挙げて活動しています。我々は石井みどり先生を上位で当選させる事ができれば国政の場はもとより政権内部で重要なポジションを得ることが予想されます。その事により我々の主張を国の政策により反映させ易くなることが期待されます。是非、先生方のご理解とご協力の程をお願い申し上げます。

定時総会開催される

平成25年3月23日、山梨県歯科医師会館3階大会議室に於いて“山梨県歯科医師連盟 第62回定時総会”が開催されました。

議事に於いては、3議案全て承認された。

第1号議案 平成23年度収入支出決算(案)の承認を求める件

第2号議案 平成25年度事業計画(案)の承認を求める件

第3号議案 平成25年度収入支出予算(案)の承認を求める件

また、次期会長の諸角三千夫先生、次期監事の内藤敏雄先生、跡部芳彦先生に当選証書が羽中田功選挙管理委員会委員長より授与された。

デンタルミーティング開催される

平成25年4月20日古名屋ホテルに於いて、山梨県歯科医師連盟デンタルミーティングが、内藤敏雄連盟会長以下役員、三塚憲二 歯科医師会会長と役員、国会議員 宮川典子衆議院議員、堀内詔子衆議院議員、中谷真一衆議院議員のもと開催された。

冒頭内藤連盟会長は国会議員の先生方の出席に対し謝辞を述べ、このデンタルミーティングは、我々が日々行っている歯科診療の現状をお話しし、歯科界の現状と課題を国会議員の先生と共に考えていくものであり、業界のエゴではなく、最終的に患者さんに安心、安全で良質な歯科医療を提供する環境作り、態勢づくりをする事を目的としております、と述べた。

内藤連盟会長の座長のもと三塚本会会長が『歯科保健医療の現状と課題～国民の生活を支える歯科医療～』と題し基調説明を行った。その中で、歯科界の課題として

1. 消費税の2段階引き上げと社会制度
2. 税制改正
 - 診療報酬に係る所得計算の特例措置
 - 事業税非課税の特例措置の存続

3. 高齢者の窓口負担の引き上げ

4. TPP と国民皆保険制度

など説明し、国会議員の理解と協力を求めた。その後、3人の国会議員それぞれより意見を求めた。

一区の宮川典子議員からは、「TPPに於いて金融サービスと医療サービスとの関連について。子供への食育に対して歯科はどう対応して行くのか？」との意見が出された。堀内詔子議員からは、「特定健診の中に歯周病検診を入れて行きたい。前政権を踏まえた26年度診療報酬改定行(対医科、1.1:1)になって行くべきであろう。」と。中谷真一議員からは、「持続可能な健康戦略を建て健康寿命と寿命との差を埋めて行くべき。」「これからは、患者数に頼らない診療報酬を考えて行かなくてはならないのではないか。」との意見が出され、一年生議員ながら、勉強されており建設的な意見が聞かれた。